



# 「アナストロファイ(破局)」

鳥取ガス株式会社

取締役社長

## 児嶋祥悟

二十一世紀のうつくしい社会へ向けて航行する地球という「青い箱船」が、環境破壊による豊饒な大地の怒り、人類が生み出した政治制度・経済制度の矛盾から大きく揺れ始めたように思う。

経済学者、難波田春夫氏は、著書「日本再建の哲学」の中で、古代ギリシャの破局をカタストロファイ(順調にある軌道を発展していたものが突如下方へ転換し転覆する)とアナストロファイ(どんだん上方へ暴走をつづけブレーキが利かなくなつてついに転覆する)で説明し、「近代社会はアナストロファイをもって終焉する」と述べている。

現代世界が欲望の追求と資本の無限増殖という上方への暴走を続ける限り、必ずや破局を迎えるだろう。

しかし、ストロファイが転換するということから、この破局を「箱船」に集った人類の英知によって、ゆたかな社会からうつくしい社会を実現する為の転換の始まりにしたい。

本年が皆様にとって、幸多い年でありますことを、お祈り申し上げます。